

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	こども - 11	放課後かまくらっ子推進事業	☐ 法定受託事務
所管課	こどもみらい部 青少年課		評価者 青少年課長 安富 誠人
一般	会計	款 15	項 10
総合計画上の位置付け	分野名	青少年育成	施策の方針名 青少年の育成・支援

1 事業の目的

対象	市内に居住する小学生及び中高生、大学生等	意図	放課後かまくらっ子事業を充実させるため。
効果	放課後かまくらっ子に青少年が参画することで、地域の中でキャリア教育等の機会を充実させる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	放課後かまくらっ子推進部会の開催 放課後かまくらっ子シンポジウムの開催	放課後かまくらっ子推進部会の開催 放課後かまくらっ子シンポジウムの開催	放課後かまくらっ子推進部会の開催 放課後かまくらっ子シンポジウムの開催
予算額（千円）	1,821	1,896	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	1,821	1,896	0
当初人員配置数	2.8	2.8	0.0
人件費（千円）	16,748	17,373	0
事業実績	放課後かまくらっ子推進部会の開催 放課後かまくらっ子シンポジウムの開催		
決算額（千円）	1,668		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	1,668	0	0
人員配置実績数	2.8	0.0	0.0
人件費（千円）	16,290	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	放課後かまくらっ子推進部会 開催回数	回	9	⇒	8		
	実績につながる活動	放課後かまくらっ子推進部会を開催した				247		
活2	指標名	こどもの声を反映する機会の実施回数	回	0	↗	5		
	実績につながる活動	こどもの声を反映するためこどもミーティング、保護者座談会を開催した				50		
活3	指標名	シンポジウム開催回数	回	1	⇒	1		
	実績につながる活動	意見交換する場であるシンポジウムを開催した				268		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・放課後かまくらっ子事業を充実させるための活動が実施できている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結 果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	放課後かまくらっ子利用者の満足度	%	未実施	↗	未実施			1 2 3

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・成果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・令和8年度から成果指標の集計を予定しており、令和7年度実績はない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・成果指標の令和7年度実績はないが、活動結果指標を維持・向上することで成果指標の向上が見込めると考えられる。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している	
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者	☐ なし
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない	
	効 率 性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし		
		関連・類似事業との統合	☒ できる	☐ できない		
	公 平 性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性			
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り	☐ ① 事業内容は現状通りとする			
		☐ 事業内容は見直し済	⇒ ☐ ② 事業内容は見直す	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ その他
		☐ 事業を休止又は廃止済	☐ ③ 事業は休止又は廃止する			
		☐ 他事業と統合済	☒ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ 放課後かまくらっ子管理運営事業 事業へ統合		
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持	☒ ① 予算規模は現状維持とする			
☐ 予算規模は拡大済		⇒ ☐ ② 予算規模は拡大する				
☐ 予算規模を縮小済		☐ ③ 予算規模は縮小する				

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たな課題あり	放課後かまくらっ子と学校との連携をより強固にすることで、より児童にとって利用しやすい環境を構築する必要がある。	
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新規事業の必要性あり	学校施設との連携	
	総評	・各取組について、概ね計画通りに進んでおり、引き続き取組を進めていく。			
					上位施策への寄与度
				A	

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	放課後子供教室設置状況（放課後子供教室数 / 公立小学校数）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	16校/16校	9校/35校	17校/19校	2校/29校	－	－	未実施	5校/5校	－
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	鎌倉市では16小学校地区の全てで放課後子供教室を設置しており、近隣自治体と比較し、充実した実施体制となっている。								